



国小だより

～ なかよく、かしこく、たくましく ～

令和6年12月24日

第13号発行

柏原市立国分小学校

校長 中平 好美

～終業式(しゅうぎょうしき)～ よくがんばりました！

残暑厳しい9月から始まった2学期も、いよいよ今日が最終日となりました。



1年間で最も長い期間でもあり、たくさんの行事がありました。

子どもたちは、さまざまな活動を通して友だちと力を合わせることの良さを学んだり、できなかったことができるようになったりして、どの子ども大きく成長することのできた2学期だったと思います。終業式はオンラインで行ったため、子どもたちの表情を見ることはできませんでしたが、校歌を歌う声が校舎内に響きわたり、各教室で気持ちよく終業式を迎えていることを実感しました。

明日から2週間、楽しい冬休みを過ごし3学期にまた元気な顔を見せてほしいと思います。

保護者の皆さまにおかれましては、今学期も教育活動へのご理解とご協力をありがとうございました。そして、いつも子どもたちを励まし支えてくださってありがとうございました。どうぞ、よいお年をお迎えください。

※2学期もたくさんのゲストティーチャーをお招きし、出前授業を実施しました。

3年生以上は総合的な学習の時間などを使って、安全や社会生活に関係すること、平和や人権にかかわることなどをテーマに取り組みました。

12月は情報モラル教育の一環として、理解啓発に取り組むNPO団体の方から5・6年生が「LINE」について学びました。スマホはひとつの道具であり使い方

を間違えると、名誉棄損罪、著作権侵害罪、侮辱罪、強要罪などの罪に問われる

可能性があることや、通常ではしない迷惑行為が「LINE」では気づかないうちに、

同等の迷惑行為をしている可能性があることを教えていただきました。自分たちの

これまでの使い方を振り返りながら、危険性を知らないままスマホを使っているこ

とに気づく子どももいました。発達段階に応じた指導がとても大事だと感じます。また、

顔を見てコミュニケーションをとることの重要性を改めて感じています。3学期

もさまざまな学習場面をとおして、子どもたちの言語活動や

コミュニケーション力を伸ばしていきたいと考えていますので、引き続きご協力く

ださいますようお願いいたします。

